

## 自分の命は自分が守る！

～ R6市町老連リーダー研修会 ～

一人でできること  
には限界がある  
(自助の限界)

地域の課題は地域で解決する

### 「共助の力」

が大切です！

行政がすぐに助けに  
行けるとは限らない  
(公助の限界)



令和6年11月25日(月)とちぎ健康の森講堂において「市町老連リーダー研修会」が200名の参加を得て開催されました。今年のテーマは『防災』。



研修会では、フリーアナウンサー・気象予報士・防災士である福嶋真理子氏の「近年の異常高温と気象情報の活用方法」と題した講演のほか、県消防防災課の行政説明では、災害が起きたときに地域住民同士が支援し合い、適切な避難行動を取るための「地区防災計画」策定のポイントについて学びました。参加された方からは、「まち歩きをして地域の危険箇所を点検してみたい」、「自治会に地区防災計画のことを確認してみる」などの声がありました。一人ひとりが平時から防災意識を高め、災害に備えましょう！

# しっかりとした組織活動ができる体制づくりを！

あいさつ (一財)栃木県老人クラブ連合会 会長 桶田正信

本年1月1日に発生した能登半島地震、そして9月の豪雨で能登地方は深刻な被害を受けた。私自身13年前の東日本大震災以降、水や野菜、重機、発電機等を送るなど、復興支援活動を行ってきた。

災害は誰も起こるとは思っていない。被災した状況の中で、老人クラブというこの大きな全国組織を、自分たちの地域の中しっかりとした組織活動ができるような体制を作ることが、地域共生社会の基本と考えている。本日の研修会を契機に、自分の地域の老人クラブ、あるいは地域で、災害に対する準備というものをしっかりと考えてほしい。



桶田正信 会長

## 行政職員の参加（相談）は必須です！

『地区防災計画をつくろう！』 栃木県消防防災課 主事 榑橋 克磨 氏



消防防災課  
主事 榑橋 克磨 氏

- 災害が少ないと言われてきた栃木県でも、近年は災害が増加傾向である。
- 災害が発生する中で、大切になってくるのは「共助」である。一人でできること（自助）、行政がすぐに助ける（公助）にも限界がある。
- 「地区防災計画」は、地域の特性に応じた地域コミュニティ主体のボトムアップ型の計画で、地域住民が協働して取り組むことが「災害に強いまちづくり」につながる。
- 市や町の取り組みと地区の取り組みが歩調の合ったものでないと、いざ災害時に混乱してしまう。地域住民・関係団体と連携して作成することが重要である。
- 災害はいつ起こるかわからない。自分の身は自分で守るということを計画策定をきっかけに、地域の方々のつながりを強めて、防災対応につなげてほしい。

## 常に最新情報の入手を！

『近年の異常高温と気象情報の活用について』

フリーアナウンサー・気象予報士・防災士 福嶋 真理子 氏



福嶋 真理子 氏

- 注意報が出たときに、あわてることはないが、準備をしておくこと。警戒レベルが高くなるにつれ、自分はどのような行動を取るのか、考えておくことが大切である。
- 地球温暖化は、今まで通りの生活を続けていると歯止めがかからない。次の世代（未来）の子どもたちのために、「電気をこまめに消す」「ゴミを減らす」といった小さな事から取り組んで欲しい。一人ひとりの小さな行動が、（温暖化を）「ひとまず食い止める」、「緩やかにする」ということにつながる。

▶ 自分の命は自分で守ること

自分を守れないと、家族も、近所の方々も助けられない。

防災の  
基本

▶ 常に最新情報を入手すること

情報は、時間と共に刻一刻と変わる。

(文責：薄井)

◆台風が発生する仕組みや飛行機雲・積乱雲の特徴、気象警報や注意報の種類等について、写真やクイズなども取り入れ、楽しく学びながら理解できる講演でした。ありがとうございました。

### 編集後記

昨年2月に開催したリーダー研修会は、雪が降り、欠席した市町老連もあったため、今年は11月の開催としました。近年の異常気象・・・今年の雪はどれぐらい降るのだろうか。そろそろタイヤ交換や融雪剤の準備など雪への備えもしなくては、。 (う)

(一財) 栃木県老人クラブ連合会事務局

〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森 2階

TEL 028-621-4787 FAX 028-621-4767

E-mail tochi-ikiiki@tochigirouren.or.jp